

# 支部だより

Internet 配信版

冬号 No.56  
平成31年1月  
電気管理 山形県支部



## ～ 目 次 ～

新年のご挨拶	支部長 田中 均 …	1
平成 30 年度電気保安教育研修会 開催報告	研修委員 佐藤 喜由 …	2
たかし君の親愛なるレイチェルとの旅日記（国内編） 「大人の休日倶楽部」第 2 回 函館への旅（前編）	酒田地区 本間 隆 …	4
「酒田共同火力発電所」見学会に参加して	天童・寒河江地区 岸 勇一 …	8
新会員のご挨拶 「入会後に思うこと」	酒田地区 高橋 良 …	9
元気のみなもと ～バクチャーでオーガニック～	新庄地区 斎藤 章 …	10
私のこだわり自慢 ～冬山の楽しみ方～	山形地区 荒井 努 …	12
本部支部の動き	…	13
雪との闘いの日々	新庄地区 栗田 浩二 …	14

### 表紙のことば

酒田地区 会員番号 860 山田 俊一

初積雪が大雪だった酒田。表紙の写真は暴風雪も一段落し、久しぶりに姿を現した鳥海山です。  
雷もガンガンになっていた日々が嘘のようでした。

酒田の吹雪は壁にも積もるんです。ぜひ、地吹雪を体験しに酒田へ遊びに来てください。

## ～ 新年のご挨拶 ～

支部長 田中 均

新年あけましておめでとうございます。

平成 31 年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

新年にあたり、昨年 1 年間、会員の皆様のご支援とご協力をいただき、なんとか今年度の事業を消化できましたことに感謝申し上げます。また、私の支部長としての任期が 1 年ちょっと残っていますので、誠心誠意がんばりたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

昨年は自然災害の多い年でした。6 月の大阪府北部地震、7 月の西日本豪雨、9 月には北海道胆振東部地震による広範囲にわたるブラックアウトが発生しました。また本県においては大雪などの雪害も深刻な問題です。

災害には備えが必要ですが、具体的に何をどうするかは個人の本気度によるところが大きいのと思われます。最低限、命を守るのが一番です。二番目以降は色々あるでしょうが、形あるものは必ず壊れます。保険に入るとか、形の悪いものを持つしかないのかな、などと考えております。皆様も一度、再検討してみたいかがでしょうか？

今年は 2020 年のオリンピックに向けた動きが益々加速しそうです。恩恵を受ける業界とそうでない業界がありますが、我々は、良し悪しは別として景気にあまり左右されない業界なので、あまり関係がないと思われます。ただし、4K8Kテレビは確実に普及するでしょうから、知識としてBSアンテナや、ブースター、分岐・分配器、直列ユニットなどは4K8K対応型に交換しなければならないことや、S-5C-FBなどのケーブルは使えることなどは、知っておいた方がいいかと思えます。

工事業界では、小中学校にエアコンを取り付ける工事が安倍首相の一声で決まり、対応に追

われているようです。これが全国規模で行われるので、エアコンの品数は大丈夫かなと心配になります。当然受変電設備の増設を伴いますので、支部会員の中で小中学校の管理をしている方には問い合わせが来るかもしれません。

さて当協会の話になりますが、電気事故はなかなかありません。昨年末には新潟の会員が管理する事業場で感電死亡事故が発生し、電気管理技術者が、嚴重注意を受ける事案が発生しました。その前には福島の子員が管理する事業場で、設置後 30 年を経過した P A S が波及事故を起こしました。本部では感電事故撲滅教育研修会を行い、事故をなくそうとしているのですが、もっと違ったアプローチの仕方を考えないといけなような気がします。皆様にもこの問題を真剣に深く掘り下げて考えていただきたいと思ひます。

平成が終わりを告げます。次の元号は何になるのか、4 月に発表されるようですが、これからは西暦を使う人が増えてきそうです。西暦の方が計算もしやすいし、変わるたびに変更する必要もなく、わかりやすいと思われます。私の電子データーの名称には必ず 190101 などと書くようにしています(2019 年 1 月 1 日の意味、20 は、今後 81 年間変化がないので省略)。ちなみに当協会の今年のカレンダーには昭和 94 年と書かれており、お客様に感心の言葉をいただくことがあります。

取り留めのないことを書いてしまいましたが、最後に今年も 1 年間、当業界の健全な発展と、健康で明るい年であることを願い、支部会員の皆様の健康と事故のないことを期待して、年頭のあいさつとさせていただきます。

# 平成 30 年度電気保安教育研修会 開催報告

研修委員 佐藤 喜由

1. 主催 (一社)東北電気管理技術者協会 山形県支部
2. 後援 経済産業省 関東東北産業保安監督部
3. 出席者 自家用電気工作物の設置者・連絡責任者・電気担当者 68 名  
山形県支部会員 27 名 計 95 名
4. 開催日時 平成 30 年 10 月 23 日 (火) 13 時 25 分～16 時 30 分
5. 開催場所 山形国際交流プラザ 山形ビッグウイング
6. カリキュラム

時間	項 目	講師・主な内容
13:25	開会の挨拶	田中支部長
13:30	平成 29 年度の 電気事故並びに 立入検査等について	<p>関東東北産業保安監督部 東北支部電力安全課 課長補佐 奥崎 光司様</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度の電気事故について</li> <li>・平成 29 年度の立ち入り検査結果について</li> <li>・高濃度 PCB 含有電気工作物の早期処理について</li> <li>・電気事業法の手続きに係る電子手続きについて</li> </ul>
14:20	質疑応答	
14:30	自家用電気工作物の 外部委託と安全管理の 要点について	<p>(一社) 東北電気管理技術者協会 本部事務局 気仙 隆之様</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保安教育研修会の趣旨</li> <li>・保安管理業務委託制度の法体系</li> <li>・契約について</li> <li>・自家用電気工作物設置者の義務</li> </ul>
15:10	質疑応答	
15:30	休憩	
15:40	DVD 上映	<p>「感電事故の救急処置」 ～ もし、あなたが事故現場に直面したら ～</p>
16:10	研修全体の質疑応答	
16:20	受講証明書交付	
16:25	閉会の挨拶	大場副支部長

## 7. 写真



(開会の挨拶)



(産業保安監督部講義)



(本部事務局講義)



(受講状況 1)



(受講状況 2)

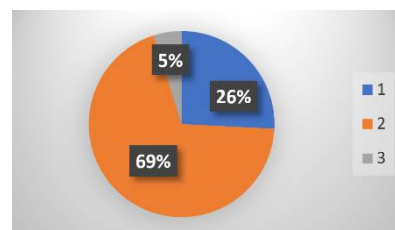


(DVD 上映)

## 8. アンケート集計結果

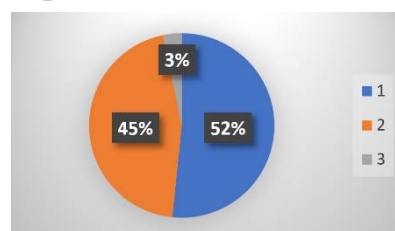
### 設問 1. 「平成 29 年度の電気事故並びに立入検査等について」

① 良く理解できた	16
② まあ理解できた	43
③ 良く理解できなかった	3



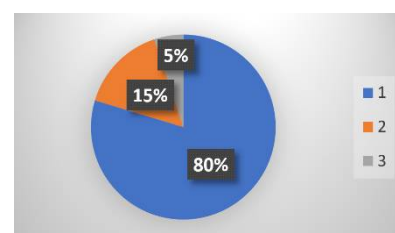
### 設問 2. 「自家用電気工作物の外部委託と安全管理の要点について」

① 良く理解できた	32
② まあ理解できた	28
③ 良く理解できなかった	2



### 設問 3. 「感電事故の救急処置」 DVD 上映について

① 良く理解できた	47
② まあ理解できた	9
④ 良く理解できなかった	3



他 意見、要望の項目に「受講して大変参考になった」等が多数占める



## 「大人の休日倶楽部」第2回 函館への旅(前篇)

酒田地区 会員番号 209 本間 隆

今回は函館です。

10 年くらい前にも函館に設置してあるパイプオルガンを見学するために訪れましたが、その時の印象が良く、また行きたい街のひとつだったからです。

函館、横浜、神戸、長崎と日本を代表する港街には全て行きましたが、学生時代を過ごした横浜はともかく、旅人として訪れる街としては旅情をそそる場所として、私にとっては一番好きな港街です。元町はあっても大きな中華街がないのもこの函館の特徴です。

前は寝台特急日本海号に、立ち席乗車券で行きましたが、今年(2008 年)3 月の J R の時刻表改訂で廃止になり、それができなくなりました。特急、各駅を乗り継いで行くとかなり時間にロスが生じます。

思い切って駅員に相談したら、いとも簡単に「ああ、それだったら特急寝台あけぼの号のゴロンとシートがいいですよ。但し人気がありますからお早めに」とのこと。空席をチェックしてもらったら、あと 10 席残っていました。早速翌日、「大人の休日倶楽部」の会員券を持ってビュープラザに行き予約をしました。帰りのゴロンとシートに連絡する特急白鳥号が取れずキャンセル待ちをしていたら、4 日後に取れたという連絡がありました。このへんは国鉄時代と違い、かなりサービスが向上しました。

さて宿の予約。毎回の貧乏旅行なので、宿の選定も格安を、インターネットで皿を舐めるように探します。ありました、朝食付で一人 4,600 円。連泊の予約をしました。

次に夜の宴会場の選択です。これもインターネットで探しました「ふ〇お」というところですね。書き込みの中で 5 人中 5 人が満票で褒めちぎっていました。

早速電話をしてみたら女将さんらしき人が出て、料理 4,000 円の予約に対してしきりに「呑み放題ですね！」と確認をいれてきます。その時はこちらの意図が伝わっていないのだと思いましたが、ついでに「お店の近くに気の利いたお宿はありませんか？」と尋ねたら、「今主人が出かけているので帰ってから電話します」とのこと。ん？今はもう午後 5 時 45 分だぞ。人柄は良さそうなのですが、今頃ご主人がどこかに出かけている店は、どんな割烹居酒屋なのだろう？という疑問が湧きました。

実は前回函館を訪れた時もインターネットで探して行っただけなのですが、ベタ褒めの書き込みとは大違い、口先料理評論家の私が板場に立っても、これより美味しいものが作れるのではないかという、低レベルのお店でした。焼き物から名前をとったという「〇絵」です。

なにせ「お造りでございます」と言っ出てきたのは青魚のいなだと鰯だけ、「揚げ物でございます」と言ってガンモドキ。ふ〜〜ん、割烹料理店で出すものだから何かこだわりがあるのかと思って訊いたら、「べつにありません」という返事。

出された物を見ると、その辺のスーパーから買ってきたみたいなガンモドキ。お味も特筆すべき物はなし。

次に出るのは鍋料理ということでしたが、内容を訊いたら「おうどんでございます」という

のでキレてしまって食べずに出てきてしまった。でも料金はきっちりひとり 5,000 円取られました。

店を出る時に背中に掛けられた言葉は、「まだまだお料理が出るのに」だって。

お料理？アホか！

あっそうそう。「焼き物でございます」と言って出てきたのは、カマスでした。しかも半身。

次の日は函館の学校でパイプオルガンを教えている友人の案内だったのですが、その話をしたら笑われました。

「あそこは函館の食通が行く店といわれているが、私が知っている人は誰も行かない」と。

どうやらこの「○絵」も「ふ○お」も書き込みをしたのは、お友達連中の可能性が高い提灯書き込みと判断せざるをえません。

皆様もつくづくご注意召され。私的な書き込みほど当てにならない物はないことを。

迷った時に私達の旅標準は「るるぶ」です。

その時、友人に連れて行ってもらった店がすごく美味しい店だったので、今回もそこを紹介して欲しいとお願いしたのですが、経営者は同じでもシェフが辞めているとのことで、代わりにスペイン料理店「バスク」を紹介してもらいました。

さて函館の夜。前回は若く体力もあったのでホテルから教えていただいた飲み屋など、一晩中函館の町を飲み歩いても、退屈した覚えがありません。しかし体力も少し落ちてきて酒もそんなに飲めなくなってきたので、函館の市街は一日費やしてまで観る物はないという前回の反省をふまえ、閑な時間をどう紛らわそうかと考えているうちに湯の川温泉を思いつき、早速予約変更開始です。

ここでも最初はグレードの低い旅館から予約していったのですが、あれやこれや不満を考

えているうちにサウナ付き、プール付き、個室露天風呂付きの「湯の川プリンスホテル渚亭」に決定。たまたま格安の部屋を見つけたのです。次の日の移動が面倒なことから連泊です。

準備が整い、いざ出発です。

2008 年 8 月 29 日(金) 酒田(曇) 函館(雨)

朝 4:00 起きをして準備、予約してあったタクシーに乗って、途中朝ごはんを仕入れるためにコンビニに立ち寄り酒田駅に到着。

5:02 発、あけぼの号に乗車。

ベッドは通常の寝台列車のベッドと変わらず、ただ毛布、枕、スリッパなどが用意されていません。私にとっては有ってもなくてもよい物ですが、今回はレイチェルのためにタオルケットと空気枕を持参しました。

これらはすべて函館到着後、帰る日までコインロッカーに入れておきました。

エアコンが利き過ぎていたので、持ち込んで正解でした。ただしゴロンとシートは禁煙ではなく、少しタバコの臭いが気になりましたが、そのうち慣れてしまいました。

我々が乗ったのは 8 号車でしたが、1 号車は女性専用のゴロンとシートです。

少しまどろんだところで、6:00 前から小学校に入る前くらいの子供が、海だ！山だ！と騒ぎ始めました。

うるさい！！

青森駅には定刻より 6 分遅れて到着。引き続き、特急スーパー白鳥号に乗って函館へ向かいます。乗った瞬間この乗客の大半は「大人の休日倶楽部」の会員だと分かるくらい、中高年や初老のご夫婦連れなどで満席でした。

青函トンネルに入るまでは短いトンネルが続くことから、まばたきトンネルと呼ばれています。そもそも列車が海底を通ること事態が恐

ろしい。万が一地震か何かで折れたりしないだろうか。折れたらどうするのだろう、いつもそういう不安と疑問を持ちながらも通過しています。



(特急スーパー白鳥号)

青森駅で買った朝日新聞に、興味のある記事が載っていました。私が学生の頃、公民権運動に身を挺して暗殺された黒人の牧師がおりました。M.L.キング牧師です。

彼の夢は「私には夢がある。かつての奴隷の子と奴隷所有者の子が、兄弟のように同じテーブルにつく夢が」であるとのこと。この言葉に感動した当時の若者は多いはずです。

この記事はアメリカ大統領候補のオバマ氏にちなんでの話で、M.L.キング牧師の再来という感じの書き出しでしたが、彼の本質はキング牧師とは違うと思います。

肌の色から大統領が選ばれるのではなく、本当に世界のために働いてくれる人を選んで欲しいと思います。

私も感動した者の一人として、彼の生き方に学びたいと思いましたが、根が怠惰な私は楽な方に流されていきました。

寝台特急電車は 12:03 函館に到着。

駅の観光案内所で市街電車、バス 2 日間乗り放題のパスを購入し、チンチン電車で杉並町へ行きます。

今回、最大の関心時であったスペイン料理店「バスク」での昼食。

メニューは A, B, C ランチがあって、その中の A, B ランチを注文して、選択メニューはいつものようにタスキ掛けで選びました。

オードブルが出てきて、全部で六種類です。それが一つひとつ鮮烈な味がします。自家製のパンを食べた時の驚きは格別です。30 年近く前にパリで食べたフランスパンの感動を思い出しました。あの時は皮を食べた時の香ばしさに驚いたものです。それからかなりの年数が経ちました。

クロワッサンに関しては日本でもかなりの店が出てきました。フランスで、自称食通の友人からこれぞ極め付きのクロワッサンとして勧められた物と遜色ない物(私基準)が出ていますが、フランスパンに関しては同じ味を国内で見つけた事はありません。

国内のパン職人が知らない筈はなく、おそらく小麦などが違う(水も違うと言う人もおりました)のではないかと思います。でもその店を私が知らないだけなのかも知れません。

バスクのパンはそのものが美味しい。出されたバターを使うと、かえってまずくなるくらいです。

スープは自家製野菜の冷スープと、薄切りのパンを浮かべ少量のとき卵のスペイン風大蒜スープ。メインデッシュを私はバスク地方特有の豚のゼラチン質を集めた料理、レイチェルは子鳥賊を用いたイカ墨の料理、デザートもケーキ生地の焼き方がふんわりとなかなかのものでした。コーヒーは焙煎がきつくなき、酸味も薄く飲みやすかった。食べ終わったところで隣の客のテーブルで 1 年 8 ヶ月前から熟成してあるという生ハムをスライスし始めました。

今までは生ハムでは思ったほどの感動を味わったことがなかったので、予測出来る範囲と



思ってその時に食べないことに未練はありませんでしたが、後日これが素晴らしい感動物だったことが分かります。

フランス料理でもなくイタリア料理でもない、まったく今までに味わったことのない、素晴らしい食感でした。

皆さん、常日頃美味しい物を食べたいと思いつながら、それが何なのか思いつかない時があると思います。しかし美味しい物って本当にあるのですね。

美食の感慨に酔いしれて市街電車でお隣の駅の五稜郭に行きました。雨が降り始めましたが傘の用意がなく、困っていたらバスクの奥様が返却不用と言って傘を貸して下さいました。

「五稜郭」北海道にはこれまで5～6回来ましたが不思議と五稜郭の記憶がありません。

高校の修学旅行で行ったのでしょうね。でも覚えてないのです。



(土方歳三？ 銅像)

しかし今回タワーに昇って歴史年表を見ていくうちに明治維新の終末期の様子がはっきり分かりました。これまで系統立てて調べたことがなかったのですが、レイチェルと私はその歴史年表を食い入るよう見ました。感情をまじ

えず淡々と生じた事柄を述べ並べてあります。旧幕府側についた藩の名前に会津、長岡、そして我が海坂藩(?)、おっとちゃう、荘内藩がありました。土方歳三の人柄にも触れることができ、新政府軍によって旧幕府軍の主要人物は捕らえられたのですが、その後、明治政府の重鎮となった面々が多いことにも驚きました。

過去に捉われず、私利私欲を捨てて有為な人物は登用して、日本を立て直そうとするところに明治初期の人々の気概を感じます。

裏を返せばそれだけ人材がいなかったからなのでしょうか。

さて今日の宿「湯の川プリンスホテル渚亭」に到着。函館駅前からバスで20分。降りた目の前がそこでした。到着してウエルカムドリンクを頂戴しました。私は白、レイチェルは赤ワインを頂きます。赤ワインが飲みやすかったので、もう一杯頂きました。連泊でしたので次の日もチャッカリ頂きました。

案内された部屋は9階の916号室、個室で露天風呂付きです。大展望付きの大浴場で汗を流し夕食のバイキング会場に行きました。

「さあ、トドのように食うぞ〜」

ステーキ有り、鮭有り、考えつく料理は殆んどすべてあると思って下さい。カキ氷や冷麺まであるのですよ。お味は贅沢を言ってはいけません。これも想像出来る範囲と思って下さい。

私とレイチェルはズワイガニを重点的に食べました。特に私は爪の部分を中心攻撃です。でも水を使用した急速解凍の蟹です。味の濃さはなく、たいして美味しくありません。

そこで引き上げて自室にて二次会を行いました。遠くに見える筈の函館山は霧につつまれて見えません。おやすみなさい。

万歩計は12,365歩

# 「酒田共同火力発電所」見学会に参加して

天童・寒河江地区 会員番号 632 岸 勇一

第3回支部研修会の2日目に、第3部として「酒田共同火力発電所」の見学会がありました。現地へは各自マイカーで移動、9:20現地集合です。現地で参加人数を確認してみると10名（内、賛助会員2名）と、少しさびしい人数でした。

現場見学の前に、展示ブースの一角にある部屋で説明を受けました。

創立当初酒田共同火力発電所(株)は、東北電力(株)と住軽アルミニウム工業(株)が50対50の出資比率でスタートしたのだそうです。しかしその9年後、住軽アルミニウム(株)が撤退し、東北電力(株)が100%出資の会社になったのですが、社名はそのまま変更せずに使っているとのことでした。

この発電所の燃料は石炭なので、大量の灰（燃やした石炭の10%）が出るため、セメントの原料や、再生石材、道路やグラウンドの盛土材などに再生利用されているそうです。

いよいよ現場見学へ、まずは貯炭場からです。貯炭場は2棟あり、28万トンもの石炭を貯蔵でき、これは46日間発電できる量だそうです。



（貯炭場）

またゴロゴロの石炭はそのまま使用するのではなく、微粉炭機で粉状にしたものをボイ

ラーで燃やすとのことでした。実際にボイラーで燃やしているところも見学しました。

次に屋上に案内され、そこから見える太陽光発電と風力発電、それからどんよりした空と海を眺め、全員で記念写真を撮りました。

そのあとは監視室です。当然ながら監視室は24時間体制で動いており、難しそうな制御機器やメーター類が並んでいます。盤の中心から半分ずつ、1号機と2号機に分かれていました。



（監視室）

日々の発電量は、天候の変化により太陽光発電や風力発電の発電量を予測し、全体の発電と需要のバランスを見ながら、東北電力(株)の指示で運転しているそうです。

監視室と同じ階にタービン・発電機室がありました。2基の発電機があり、出力は合算で70万キロワットあり、これは山形県全体で使用する電気の70%をまかなうことができそうです。

気になる整備と点検ですが、2年に1回、3ヶ月かけて行うそうです。

今回このような見学会を企画していただいた東北電力(株)さんに感謝致します。昼ご飯の寿司が大変おいしかったです。ごちそうさまでした。

## 「入会後に思うこと」

酒田地区 会員番号 913 高橋 良

当協会に入会する前は、東北電気保安協会に勤務しておりました。平成3年に入社し25年間の在籍を経て、平成28年3月に定年退職しました。継続雇用で引き続き働くよう要請されましたが、今の仕事を続けたい思いと、人生に一度は起業してチャレンジしたい思いがリンクして、限界まで続けられる電気管理技術者の道を選択しました。

東北電気管理技術者協会に入会するにあたっては、酒田地区の最古参でもある本間隆氏並びに同事務所の本間隆介氏のご厚意による紹介があったことを、この場をお借りしてお礼を述べるとともに皆さんにお伝えしたいと思います。

賛助会員から正会員に至るまで、入会への紹介者としての快諾や、委託替えの譲渡先を提供していただいたりと、当協会所属電気管理技術者としての土台を作っていただいたことに感謝しております。

さあ、ここからが出発点です。

保安協会勤務時は、退職直前まで換算係数満杯の業務を担わされ、毎日忙しく点検に走り回っていましたが、一転ゼロからの出発です。いかにして委託先を獲得し増やしていくか、マニュアルなどある筈もなく、まさに一人親方であり自分の力しかない現実を実感しているところです。

前職時代に信頼を築いた（と感じていた）お客さまへ営業を兼ねて訪問し、簡単に委託

契約に漕ぎつけると思いきや、組織から離れた一人には冷たい風が吹きました。出てきた言葉は『いまのままでよい』でした。長年築かれた牙城は、そう簡単には崩れません。7年振りに訪問した事業場では、社長が高齢で引退し古社員に権限を委譲していました。初対面の雰囲気では取り付く島が遠くになり、時間がかかりそうです。

まずは、知ってもらうこと。新規契約を求めて工事会社に名刺を配ったり、成果はすぐには期待できませんが、できることから積み重ねていくしかありません。営業に王道なし。そう考えて行動しています。

一方、作業で使用する短絡接地器具等の作業用具や絶縁抵抗測定器等の測定器、高圧ゴム手袋等の安全具、作業車、作業着、必要なものを全部揃えるには時間がかかりますしお金も要ります。また、あまり経験のない経理事務、例えば、請求書の作成、郵便物の発送等の業務も増えました。

視点を変えて、当協会に入会して感じたことを記してみたいと思います。

実情もわからず推測で物を言ってもらっては困る、と叱責されるとすれば、こちらの認識不足なので撤回しなくてはなりません……。

無停電年次点検のことです。もちろん、無停電年次点検はお客さまとの協議が原則ですので、了解が得られなければ実施できません。保安協会では、事業場の規模の大小にかかわらず、



絶縁監視装置による監視を軸に無停電年次点検が主流になっており、3年1回のインターバルで停電年次点検を実施します。さらに、停電年次点検の実施項目でもある低圧絶縁抵抗測定は、絶縁監視装置の常時監視で警報がなく絶縁状態が良好である場合は一部を除いて省略します。点検と作業の効率化を追求しているように見えます。

ただ、電気設備の診断は停電しての点検・測定試験のほうが、精度が高いと言われています。従って、無停電年次点検を必要としている24時間営業のコンビニエンスストアやスーパーマーケット及び総合病院等のように、停電困難な店舗や公共施設等を除いては、できる限り停電年次点検を採用したほうが保安管理業務の精神に適っていると考えられます。



さて、電気管理技術者としての第一歩を踏み出しましたが、厳しい現実には直面しているのが現状です。しかし、マイナス思考では前に進めません。最低10年は継続し、地道に焦らずチャレンジ精神を絶やすことなく（難しいですが）悔いが残らないようにしたいと思っています。

古新米ですが、「継続は力なり」を座右の名に前進するつもりです。諸先輩方々のご指導、ご鞭撻をお願い致します。



健康法やリフレッシュ法などを紹介して頂くコーナーです

## ～ バクチャーでオーガニック ～

新庄地区 会員番号 802 斎藤 章

元気のみなもと！の執筆にあたり、「バクチャー」というものをご紹介します。

私がバクチャーと出会ったのは約3年前、太陽光発電ムラの代表者、谷口洋和氏を新庄に招いて講演をしてもらった時のことです。

斎藤：「どっかに面白い事してる奴いない？」

谷口：「岡山の手奥で鰻とアワビを飼ってる奴がいる」

そんなやり取りがあり、会いたい！すぐに思い立ち、翌週には現地向かいました。

折角なんで少し足を延ばし、八百万の神が宿るという出雲大社を参拝、その後岡山県津山市

に朝7時のアポイントで、初めてバクチャーというものを体験しました。ただ一言、

「すげー何これ？」

豚、鶏の糞尿の分解と消臭、汚水の分解と消臭、また水替え不要な生簀には、鰻が10万匹、アワビが500匹、その他3年もの間水替えしてない金魚の水槽・・・。

この出会いから私は、バクチャーに携わることになっていきました。

バクチャーとは「微生物活性材バクチャー(BAKTURE)」のことで、Back to the Natureを略した造語なんだそうです。自然界が本来持っている微生物の力を活性化させる機能を持っていて、その効能は水質改善・土壌改善・臭気対策など、広い範囲に及ぶとのこと。

現在、我が家の畑ではバクチャーS(商品名)を全面散布し、大根・ほうれん草・にんにく・枝豆・ピーマン等々、たくさんの野菜を無農薬、無化学肥料で育てています。そうすることにより、硝酸イオンが少なく、糖度・ビタミンC・抗酸化力の高い作物が取れるようになりました。わかりやすく言えば、化学成分が少ない、えぐみのない、野菜本来が持つ味のする野菜になります。

バクチャーは土壌改良だけでなく、水質改善にも力を発揮します。現代の養殖などでは、化学薬品や抗生物質を使い病気を抑え、歩留まりを確保していますが、バクチャー養殖ですと化学薬品や抗生物質は不使用で、オーガニックな養殖された物をいただけます。

実は私の事務所でも、鰻・ふぐ・アワビ・ナマコを飼育しています。もちろん、バクチャーのみで水替え不要です。



(鰻)



(ふぐ)

「ガイアの夜明け」や「羽鳥さんのモーニングバード」にも取り上げられたことがあります。またインターネットでも、「バクチャー」で検索するといろんな動画もありますので見てみてください。

楽天サイトの「アイドルお水のお店」でも購入出来ます。

<https://item.rakuten.co.jp/aidoll/35091420/>





仕事上の工夫やこだわり、プライベートの趣味などを紹介して頂くコーナーです

## ～ 冬山の楽しみ方 ～

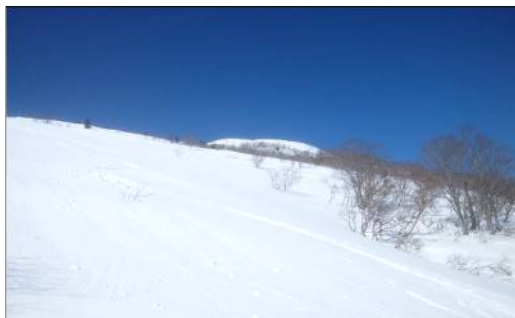
山形地区 会員番号 705 荒井 努

私は趣味で果樹栽培をしているのですが、去年の冬は積雪が多く、何度も雪下ろしにいかねばならず大変でした。雪で道路も封鎖になり、片道一時間ほど山道を登らないと着かないので、本当に大変です。

そこで、スキーを履いて登ってみたのですが、普通のスキーでは下りは良いけど登りが大変でダメ。カンジキは下りに時間がかかりダメ。結局山スキー用の道具を購入することになりました。

山スキーの金具は踵がフリーになり、クライミングシールという滑り止めを貼るとかなりの急斜面でもバンバン登れて、本当にびっくりしました。これで雪下ろしも大分楽になり、スキーで山道を散策する事の楽しさに気が付きました。

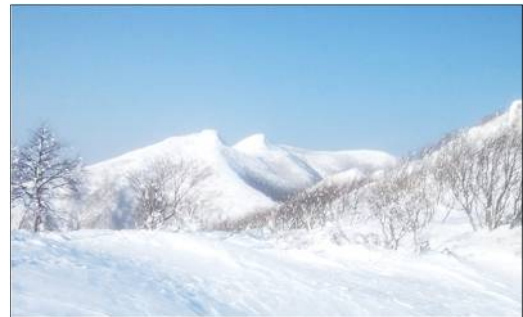
去年の冬は笹谷峠に行ってみました。車を停めスキーを準備して、杉林の中の登山道を少しずつ登りました。意外とカンジキを履いて登る人も多く、人気のあるコースのようでした。最初のうちは杉などの大木が多く生えていて眺めが良くないのですが、標高が上がるにつれ低木と笹藪になり、視界も開けてきます。途中急登が続くので真冬の氷点下でも



(ハマグリ山中腹)

汗が噴き出てきます。登りはかなりキツイのです。

それでもがんばって登っていくと宮城県との県境の平坦な所に着きます。北側には千歳山みたいな丸い山が見え、近くにいた人に聞いたら「ハマグリ山」という山なのだそうです。更にそのハマグリ山を登って行くと素晴らしい眺めに遭遇し、感動しました。



(ハマグリ山の頂上からの眺め)

ハマグリ山は森林限界なのか大きな木が少なく、積雪の多い時期はスキーで滑走できます。この日も天気に恵まれ、3回往復しました。滑ったあとにはガスバーナーで雪を沸かし、絶景を見ながらコーヒーを飲み、カップラーメンを食べました。この上なく美味しく感じました。

下りもスキーなのですが、急で狭い登山道ですので、怪我などしないように慎重にゆっくり下ります。駐車場に着くころには疲労でぐったりです。

途中で近所の温泉に入り帰宅。あとはビールを飲んで早く寝たのですが、翌朝まで爆睡でした。

今年の冬は積雪が多いのでしょうか・・・？何でもほどほどがいいですねえ。

# 本部・支部の主な動き

\* 本部理事会及び各委員会等については、本部会報をご覧ください。

## ～ これまでの経過 ～

区 分	名 称	日 程	場 所	備 考
県支部	支部だより No.55 発行	H30/7/31(火)	－	
	感電事故撲滅教育研修会 (第2回支部研修会)	H30/8/3(金)	山形流通団地 組合会館	
	第2回支部役員会	H30/9/28(金)	山形ビッグウイング	
	電気保安教育研修会	H30/10/23(火)	山形ビッグウイング	
	第3回支部研修会	H30/11/29(木) ～11/30(金)	竹屋ホテル(鶴岡市) 酒田共同火力発電所	
各地区	酒田地区 第1回地区研修会	H30/8/21(火)	味工房 八月(酒田市)	8名
	鶴岡地区 第1回地区研修会	H30/9/3(月)	盛華楼(鶴岡市)	9名
	村山地区 自家用波及事故防止対策委員会	H30/9/11(火)	東北電力(株) 天童電力センター	当協会2名
	山形地区 第1回地区研修会	H30/9/20(木)	能登屋(山形市)	13名
	新庄地区 自家用波及事故防止対策委員会	H30/9/21(金)	東北電力(株) 新庄電力センター	当協会6名
	酒田地区 臨時地区研修会	H30/10/12(金)	酒田勤労者 福祉センター(酒田市)	6名 (他地区4名)
	置賜地区 自家用波及事故防止対策委員会	H30/10/24(水)	東北電力(株) 米沢電力センター	当協会3名
	新庄地区 第1回地区研修会	H30/10/30(火)	あけぼの三丁目 (新庄市)	6名
	置賜地区 第2回地区研修会	H30/12/21(金)	ゆあーず(米沢市)	8名
	新庄地区 (一財)東北電気保安協会との懇親会	H31/1/11(金)	笑楽喰(新庄市)	当協会6名

## ～ これからの予定 ～

区 分	名 称	日 程	場 所	備 考
県支部	第3回支部役員会	H31/2/28(木)	山形ビッグウイング	
各地区	各地区研修会	－	－	

## ～ 支部会員の動き ～

(敬称略)

区分	地区	氏 名	日 付
正会員	退会	山形 阿部 英昭	H30/9/25
	入会	鶴岡 大久保 秀樹	H30/11/2
		山形 佐藤 博昭	H31/1/22
個人賛助	退会	山形 阿部 浩一	H30/9/13
	入会	鶴岡 板垣 清	H30/9/11





## 雪との闘いの日々

新庄地区 会員番号 706 栗田 浩二

「今年は雪が少なくてイイですねえ！」つい先日まではそんな会話がよく聞かれましたが、ここ数日の降雪で、すっかり挽回されてしまいました。

私の住む県北の最上地方は豪雪で有名であり、しばしば全国版のニュースにも登場するほどです。

例えばスキー場の関係者や除雪の業者さんとか、雪が少ないと困る業種もありますが、我々電気管理技術者には、誠にありがたくない代物です。

冬の月次点検は、お客さんに伺って最初に「がっかり！」から始まります。もちろん予想はしていますが、あまりにも予想通りだったりします。

当然のことながら、扉を開けて点検するには、雪を掘り上げなければなりません。気を取り直して作業にかかるも、本来の点検作業よりもはるかに時間がかかります。殊に今年のような暖冬の時は雪が湿っていて、重くて最悪なのです。体力勝負です。腰にきます。



お客さんによってはきれいに掘っておいてくれるところもありますが、それは少数派です。

だいたい2月がピークです。3月はなるべく遅い時期に行くようにしています。1ヶ所のお客さん当たりで考えると、あと2回掘れば春が来ます。そんな風に少しでも楽観的に考えながら、この厳しい冬を乗り切っていきます。

雪の神様がいたら、今年はこの辺で勘弁してくれるようお願いしたいと思います。

今日も雪です。しんしんと降り続く雪を、恨めしそうに見つめながら・・・。

### \*\*\*\* あとがき \*\*\*\*

広報委員 栗田 浩二

大坂なおみさんの全豪オープンでの快進撃は、素晴らしかったですね。皆の期待どおり、とうとう優勝してしまいました。にわかファンの私ですら、元気と勇気をもらいました。今年はきっと、良い年になるような、そんな予感がいたします。

さて、今回も皆様の快いご寄稿のおかげで、無事発行にこぎつくことができました。本当にありがとうございました。

会員の皆様には、ちょっとした骨休めの一助としてご覧いただければと願いながら、お届けいたします。

### 支部だより No.56

Internet 配信版

平成 31 年 1 月 31 日発行

(一社) 東北電気管理技術者協会 山形県支部  
〒990-0863

山形市江南四丁目 10 番 14-10 号

TEL 023-665-1070

FAX 023-665-1071

Eメール info@eme-yamagata.com

編集責任者 広報委員 / 栗田 浩二